

【氏名】(ふりがな)	赤羽根 有里子 (あかばね ゆりこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1989 年宇都宮大学大学院教育学研究科 (国語教育) 修了 (学位 : 教育学修士) 1995 年より岡崎女子短期大学に勤務。現在岡崎女子短期大学幼児教育学科教授。
【専門】	児童文学
【担当科目】	児童文学、児童文化演習、保育内容 (言葉)
【研究テーマ】	江戸期昔話絵本の変遷、昔話の絵本化について
【論文・著書・作品】	『江戸期昔話絵本の研究と資料』(三弥井書店) 『「大きなかぶ」はなぜぬけた? - 謎とき世界の民話』(共著・講談社) 『はじめて学ぶ日本の絵本史 I』(共著・ミネルヴァ書房)
【所属学会】	日本児童文学学会、近世文学会、日本昔話学会、日本口承文芸学会
【支援可能テーマ】	絵本の歴史、昔話の変遷など
【地域の方々に対するメッセージ】	現代においても昔話絵本は子どもたちに人気のあるジャンルですが、その歴史にも興味をもっていただけると幸いです。

【氏名】(ふりがな)	市原 潔 (いちはら きよし)
【所属】	岡崎女子短期大学 経営実務科 教授
【経歴】	<p>1979年3月 京都大学工学部航空工学科卒業(学位:工学士)</p> <p>1979年4月 日立コンピュータコンサルタント(株)入社(現、日立システムアンドサービス(株))(1981年3月まで) (日立製作所ソフトウェア工場(戸塚)に派遣されて大型計算機のネットワーク管理およびデータベース管理システム開発に従事)。</p> <p>1981年4月 東京大学大学院工学系研究科航空学専門修士課程入学 (有限要素法を用いた空気力学および航空機の最適設計の研究に従事)</p> <p>1983年3月 同学修了(学位:修士(工学)、第6512号)</p> <p>1983年4月 同学博士課程進学</p> <p>1986年1月 (株)コンピュータ科学研究所入社(1987年12月まで) (科学技術計算ソフトの開発に従事)</p> <p>1987年3月 東京大学大学院工学系研究科航空学専門博士課程単位取得退学</p> <p>1988年6月 (株)三菱総合研究所入社(2001年3月まで) (情報ネットワーク、データベース管理システムの構築、コンサルティングに従事。)</p> <p>1993年11月 (株)三菱総合研究所在職中、東京大学大学院より博士(工学)を授与される(学位記 第11478号)</p> <p>1995年4月 (株)三菱総合研究所在職中、日本原子力研究所計算科学技術推進センターに出向(~1997年3月まで)(並列計算アルゴリズムの研究に従事)</p> <p>2001年4月 四日市大学総合政策学部総合政策学科助教授(2006年3月まで) (情報系科目を担当)</p> <p>2003年4月 三重大学非常勤講師 生物資源学部:物理系環境計量学:2003年度~2007年度 工学部:基礎微積分学:2006年度~現在に至る</p> <p>2004年4月 岐阜医療技術短期大学非常勤講師 保健統計を担当(現在に至る) ※(2006年度より岐阜医療科学大学に改称)。</p> <p>2006年4月 岡崎女子短期大学経営実務科 教授(現在に至る)</p>
【専門】	計算工学、情報教育
【担当科目】	情報基礎演習Ⅰ、Ⅱ、メディアデザイン、情報処理論、ネットワーク論、

	地域生産技術、教養ゼミ、専門ゼミ、等
【研究テーマ】	数値シミュレーション（数理モデリング、並列計算アルゴリズム）
【論文・著書・作品】	<p>相原康彦、小山久夫、市原潔：空気力学とCAD、(1983年12月)、日本航空宇宙学会誌第31巻359号 pp.707-712 (6頁)</p> <p>市原潔、横川美津夫、蕪木英雄：非圧縮性NS方程式における圧力方程式の並列解法と評価、(1996年3月)、日本原子力研究所、JAERIData-Code96-012 (43頁)</p> <p>市原潔：騒音予測シミュレーションの並列化と負荷割当方式の検討、(2000年5月)、日本計算工学会論文集 Vol.2,2000 pp.117-124 (8頁)</p> <p>市原潔：氷点下における送電線着雪について、(2004年1月)、日本雪氷学会誌 66巻1号 pp.59-64 (6頁)</p> <p>中村豪一、畠山隆、竹内敬治、市原潔：物理モデルに基づく架空送電線着雪予測システムの検討、(2005年5月)、電気学会論文集B編 Vol.125,No.5,2005 pp.493-504 (12頁)</p> <p>市原潔：低圧ガス導管流送解析公式の再検討、(2006年3月)、四日市大学総合政策学部論集第5巻第1・2合併号 pp.115-128 (14頁)</p> <p>市原潔：メタバースにおける岡崎二十七曲りのリアルな再現に向けた事前調査研究、(2009年6月)、地域活性化研究第8号 pp.21-33 (13頁)</p>
【所属学会】	情報処理学会、日本機械学会、日本計算工学会、応用数理学会
【支援可能テーマ】	流体工学に関わる数理モデリングとシミュレーション、情報ネットワーク構築についての助言
【地域の方々に対するメッセージ】	地域密着型の短大として、これまで以上に連携を深めていきたいと存じます。

【氏名】(ふりがな)	上田 信道 (うえだのぶみち)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1979年大阪教育大学大学院教育学研究科修了(学位:教育学修士) 大阪府立高校教諭・大阪国際児童文学館などを経て現在に至る。
【専門】	日本児童文学, 日本児童文化
【担当科目】	児童文化演習, 児童文学, 保育内容(言葉)など
【研究テーマ】	日本児童文学史, 日本児童文化史
【論文・著書・作品】	『名作童謡ふしぎ物語』(創元社), 『謎とき 名作童謡の誕生』(平凡社新書), 『名作童謡北原白秋 100選』『名作童謡西條八十 100選』『名作童謡野口雨情 100選』(編著 春陽堂), 『日本昔噺』(編著 平凡社東洋文庫), 『現代日本児童文学選』(共編著 森北出版), 『日本之少年 復刻版』(監修・解説 柏書房)など
【所属学会】	日本児童文学学会
【支援可能テーマ】	日本児童文学・日本児童文化全般に関する理論, 絵本の読み聞かせ, 紙芝居の実演, 伝承遊びなど
【地域の方々に対するメッセージ】	地域の活性化には子どもたちが元気になることが必要だと思います。
HP アドレス	http://www.nob.internet.ne.jp

【氏名】(ふりがな)	梅下 弘樹 (うめした ひろき)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	2000年 筑波大学大学院心身障害学研究科 (学位：心身障害学修士)
【専門】	行動・情緒障害児に対する治療教育的方法について
【担当科目】	教育心理学 発達心理学 保育カウンセリング
【研究テーマ】	教育場面における発達障害や行動・情緒面に問題を持つ児童への援助方法について
【論文・著書・作品】	発達障害児および発達障害が疑われる幼児の発達特性と家庭環境に関する研究—津守式乳幼児精神発達診断法を用いて— 岡崎女子短期大学研究紀要 第43号 41-45 共著
【所属学会】	特殊教育学会 日本行動療法学会
【支援可能テーマ】	発達障害や行動・情緒面に問題を持つ子どもへの援助について

【氏名】(ふりがな)	大岩 みちの (おおいわ みちの)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	(学歴) 1977年 愛知教育大学 教育学部卒業 (学位: 教育学士) 1998年 愛知教育大学 教育学研究科 学校教育専攻 幼児教育専修修了 (学位: 教育学修士) (職歴) 1977年名古屋市立第一幼稚園教諭 (1987年 3月まで) 1998年愛知教育大学非常勤講師 (2003年 3月まで) 1999年幼稚園新規採用教員研修指導員 (2001年 2月まで)
【専門】	幼児教育学
【担当科目】	保育原理・保育内容総論・保育内容演習 (人間関係・環境・表現)・幼児理解の理論と方法・指導法の研究・保育所保育実習・幼稚園教育実習
【研究テーマ】	・実習における学び合い ・保育における子ども・幼児理解 ・保育者養成・現任研修
【論文・著書・作品】	(論文) ・幼稚園と小学校の連携 —倉橋惣三の国民幼稚園構想と「生活科」の関連に着目して— ・表現するものの養成のために —保育内容「表現」の授業への取り組みから— ・実習の事前事後指導における学生の学びあい ・保育内容を実践に生かす取り組みとしての幼児教育祭 —「幼児教育祭」を保育現場につなげるために— (著書) ・「保育者へのステージ1」—保育・教育実習から学ぶ— (2006年) ・「保育・教育ネオシリーズ」第二版 (2009年) 第4巻 保育の計画と方法 第4章 短期指導計画の実際 ・「保育・教育実習から学ぶ 第2版」(2010年) ・「保育・教育実習を深める」(2010年) ・「演習 保育内容総論」(2010年) 第7章 4・5歳児の保育内容とその展開 他
【所属学会】	・日本保育学会 ・日本乳幼児教育学会 ・子どもと保育・実践研究会
【支援可能テーマ】	・保育者養成・保育者育成
【地域の方々に対するメッセージ】	保育職に立ち向かう「強さ」と「やさしさ」、そして「勇気」を持つ保育者の養成・育成をめざしています。

【氏名】(ふりがな)	小川 宜子 (おがわ よしこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1974年 上野学園大学音楽学部器楽学科卒業 (学位：芸術 学士)
【専門】	ピアノ、基礎技能音楽
【担当科目】	基礎音楽、幼児音楽、総合演習、子どもの研究
【研究テーマ】	「子どもの生活と音楽」 「保育者養成における基礎技能音楽について」 「保育現場で必要とされる子どもの音楽活動について」
【論文・著書・作品】	論文「乳幼児期のあやし遊びうた」 「保育におけるあやしあそびうたについて」 「学生の音楽力と保育者養成」 著書「カレッジ・ピアノ・メソッド」 「歌のカレンダー」 「保育者のためのピアノで歌える歌曲集 子どものうた村保育の木」 「小学校教諭・保育者をめざす 子どもの表現活動に役立つピアノテクニック」 「小学校教諭・保育者をめざす 子どもの表現活動を導くコードネームによる伴奏法」
【所属学会】	日本保育学会、日本音楽教育学会、全国大学音楽教育学会理事、 全国大学音楽教育学会中部地区学会副会長
【支援可能テーマ】	乳幼児のあやしあそびうたについて 保育者に必要とされる音楽の感性について

【氏名】(ふりがな)	小野 隆 (おの たかし)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1986年愛知教育大学教育学部保健体育科卒業, 1988年同大学院修士課程修了(教育学修士 第344号)。愛知教育大学, 岡崎女子短期大学, 田原福祉専門学校などにて非常勤講師, 1999年より江戸川大学総合福祉専門学校専任教員を経て, 2006年4月より岡崎女子短期大学人間福祉学科教授。2007年より愛知県体育協会普及・広報委員, 岡崎市介護保険運営協議会副会長, 2010年第2回岡崎市福祉施設指定管理者選定委員会委員長 2004年3月:博士(医学)取得(名古屋大学大学院医学系研究科博士課程 論医博第3107号)
【専門】	体力科学, 福祉レクリエーション, 障害者スポーツ。 小・中・高教員免許(保健体育), 上級障害者スポーツ指導員, レクリエーション・コーディネーター, 福祉レクリエーション・ワーカー, 福祉住環境コーディネーター2級, 介護教員講習会修了証。
【担当科目】	介護過程の展開事例研究Ⅰ, 福祉住環境コーディネート, 発達と老化の理解Ⅱ, 介護とレクリエーションⅡ, 地域福祉研究Ⅰ・Ⅱ, ヘルスポモーション実習, 保育内容(健康), レクリエーション概論。
【研究テーマ】	介護予防活動や保育内容と健康やレクリエーションに関する研究 障害者(児)のスポーツ活動に関する研究 障害者(児)の体力に関する研究 アクティビティが心理面に及ぼす影響に関する研究
【論文・著書・作品】	”Validity of an adaptive filter for accurate measurement of cardiac output in impedance cardiography” Tohoku J Exp Med, Vol.202, No.3, pp.181-191, 2004. 他, 『高齢者のための心理学』, 保育出版(共著), 『保育実践を支える健康』, 福村出版(共編・著) 他。
【所属学会】	日本体育学会, 日本体力医学会, 日本健康医学会, 医療体育研究会
【支援可能テーマ】	介護予防活動および福祉レクリエーション活動に関するもの 健康・体力の維持増進に関するもの
【地域の方々に対するメッセージ】	障害があっても無くてもレクリエーション(自由+楽しい⇒考え方)を持って、社会に出て行って、人と人との関わりを大切にすることが、楽しく豊かな生活に繋がります!

【氏名】(ふりがな)	河合 晋 (かわい すすむ)
【所属】	岡崎女子短期大学 経営実務科 准教授
【経歴】	1993年 関西大学商学部卒業(商学学士) 1995年 関西大学大学院商学研究科博士前期課程修了(商学修士) 学校法人河合塾講師などを経て、 2009年 愛知工業大学大学院経営情報科学研究科博士後期過程単 位取得後退学 2009年～ 岡崎女子短期大学経営実務科講師
【専門】	会計学
【担当科目】	簿記基礎Ⅰ・Ⅱ、簿記実務Ⅰ・Ⅱ、簿記検定講座Ⅰ・Ⅱ、財務管理論、 ビジネス実務総論、経営実務演習、教養ゼミ、専門ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ
【研究テーマ】	公的組織における管理会計手法 簿記・会計教育における効果的教授法
【論文・著書・作品】	「本学の金融機関への就職希望学生における簿記検定等の資格取得に ついてー学生と金融機関へのアンケート結果からー」岡崎女子短期大学 学術教育総合研究所所報第3号、2010年 「病院におけるBSCの取組みについての一考察」岡崎女子短期大学研 究紀要第43号、2010年 「自治体病院の経営改善手法についての考察」愛知工業大学経営情報科 学第3巻第1号、2007年 「自治体病院の経営実態とその改善」愛知工業大学経営情報科学第2巻 第2号、2007年
【所属学会】	日本会計教育学会、日本経営システム学会、日本社会関連会計学会、日 本ビジネス実務学会
【支援可能テーマ】	日商簿記検定、ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格取得支 援

【氏名】(ふりがな)	岸本 美紀 (きしもと みき)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	<p>1996年 お茶の水女子大学家政学部卒業 (学位: 家政学学士)</p> <p>1999年 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 発達社会科学専攻博士課程前期修了 (人文科学修士)</p> <p>2003年 臨床心理士資格取得</p> <p>1998～2007年 保健所における子どもの発達相談、保育所巡回相談、 療育機関における心理発達指導、非常勤講師</p> <p>2007年4月～ 岡崎女子短期大学幼児教育学科専任講師</p> <p>2008年4月～ 岡崎市保健所言語発達遅滞児等集団指導教室 (ひよこの会) 臨床心理士</p>
【専門】	乳幼児の発達、障害のある子どもの保育・療育、子育て支援、実習
【担当科目】	「保育内容総論」「教育実習」「保育実習」等
【研究テーマ】	保育内容の総合的指導、実習指導、障害のある子どもの保育
【論文・著書・作品】	<ul style="list-style-type: none"> ・「ダウン症児における早期通園療育の効果 -発達検査からみた乳幼児期の発達特徴について」 共著 「小児保健研究」 Vol.64, No.4, 557-584 (2005) ・「ダウン症児における早期通園療育の効果 (その2) -発達検査結果からみた超早期療育の効果について-」 共著 「小児保健研究」 Vol.67, No.5, 773-789 (2008) ・「保育内容を実践に生かす取り組みとしての幼児教育祭 -「幼児教育祭」を保育現場につなげるために-」 共著 「岡崎女子短期大学研究紀要」 第42号、p.11-16 (2009) ・「保育内容を実践に生かす取り組みとしての幼児教育祭 その(2) -保育内容の理解を深め、実践につなげるために-」 共著 「岡崎女子短期大学研究紀要」 第43号、p.23-30 (2010) ・「保育実践を支える人間関係」 福村出版(株) 共著 4章「人とかかわる力の発達の様相 -発達を見通し、子ども理解につなげるために」 (p.81-107) 執筆 (2009) ・「シードブック 保育にいかす精神保健」 (株)建帛社 共著 第9章「児童虐待」 (p.138-146) を執筆 (2010) ・「保育・教育実習から学ぶ」 第2版 (株)愛智出版 共同編集 (2010) ・「保育・教育実習を深める」 (株)愛智出版 共著 第3章「障害のある子どもの保育」 (p.53-72)、第4章「保護者に対する支援」 第2節「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」における保護者支援 (p.76-88)、第3節子育て支援の実際 (p.88-94) 執筆 (2010)

【所属学会】	日本保育学会、日本心理臨床学会、日本発達心理学会、日本小児保健学会
【支援可能テーマ】	乳幼児期の発達と援助、子育て相談、子育て・保護者支援、障害のある子どもの保育、療育相談
【地域の方々に対するメッセージ】	子ども、子育て、保育にかかわるさまざまな問題に対して、臨床経験をもとにして、お役に立ちたいと考えております。

【氏名】(ふりがな)	貴田 美鈴 (きだ みすず)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	<p>1981年 千葉労災病院等 看護師 (2000年まで10年間勤務)</p> <p>2000年 ハートフル在宅介護支援センター 介護支援専門員(～2001年)</p> <p>2005年 中部学院大学人間福祉学部健康福祉学科卒業 学士(社会福祉学)</p> <p>2005年 社会福祉士(第67849号)、精神保健福祉士(第24470号)</p> <p>2007年 名古屋市立大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了 修士(人間文化)</p> <p>2012年 名古屋市立大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了 博士(人間文化)</p> <p>2008年 岡崎女子短期大学 専任講師</p>
【専門】	社会福祉学、子ども家庭福祉論
【担当科目】	児童福祉、社会福祉、社会福祉援助技術、保育実習(施設)、子どもの研究Ⅰ、子どもの研究Ⅱ等
【研究テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里親制度の歴史的研究 ・ 社会的養護のあり方に関する研究 ・ 保育士の専門性と職業観、保育士養成に関する研究
【論文・著書・作品】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「乳児院入所児のアタッチメントの発達と環境移行の影響」、『名古屋学院大学論集 社会科学篇』42(4), 共著, 2006.3, pp.83-101 ・ 「児童養護における里親制度の対象と役割ー社会的要因との関連からー」名古屋市立大学修士論文, 2007.3, 全123頁 ・ 「児童相談所における里親制度運営に関する一考察ー全国と岐阜県の里親委託・支援状況に着目してー」, 『人間文化研究』7, 単著, 名古屋市立大学大学院人間文化研究科, 2007.7, pp.93-109 ・ 「里親制度における政策主体の意図ー1960年代から1980年代の社会福祉の政策展開に着目してー」, 『人間文化研究』8, 単著, 名古屋市立大学大学院人間文化研究科, 2007.11, pp.83-97 ・ 『しあわせな明日を信じてー作文集 乳児院・児童養護施設の子どもたち』, 共著, pp.37-41, pp.262-266, 福村出版, 2008.7 ・ 「2002年の里親制度の改定に影響を及ぼした社会的要因ー子どもの権利条約批准と児童虐待の社会問題化ー」, 『人間文化研究』10, 単著 名古屋市立大学大学院人間文化研究科, 2008.12, pp.77-89 ・ 「里親に関する研究の展望と課題ー1998年～2008年までの国内文献からー」, 『人間文化研究』12, 単著, 名古屋市立大学大学院人間文化

	<p>研究科，2009.12，pp.85-100</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育実習(施設)の事前指導における学生の意識－実習への期待感と不安感を中心に－」，『学術教育総合研究所所報』3，単著，岡崎女子短期大学，2010.3，pp.31-42
【所属学会】	<p>日本社会福祉学会、養子と里親を考える会、日本子ども虐待防止学会、日本子ども家庭福祉学会、日本キリスト教社会福祉学会、総合社会福祉研究所</p>
【支援可能テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護・里親制度の現状と課題 ・子ども虐待問題

【氏名】(ふりがな)	小宮 富子 (こみや とみこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 副学長・教授
【経歴】	1983年 南山大学大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程 満期退学(学位:文学修士) 1983年 日本福祉大学・関西外国語大学・名城大学・愛知大学にて非常勤講師(1988年まで) 1988年 岡崎女子短期大学専任講師 1989年 愛知教育大学非常勤講師(1991年まで) 1994年 南山大学非常勤講師(現在に至る) 2003年 岡崎女子短期大学教授(現在に至る)
【専門】	英語学・英語教育学
【担当科目】	外国語コミュニケーション・異文化コミュニケーション
【研究テーマ】	国際英語論と日本人の英語 日本人英語の文法特徴
【論文・著書・作品】	『英語教育学体系第3巻:英語教育と文化』共著(2010 大修館) 『高等教育における英語授業の研究』共著(2007 松柏社:大学英語教育学会賞実践賞受賞) 「日本人英語における定冠詞の特徴と安定化について」『アジア英語研究』第9号、日本「アジア英語」学会 2007
【所属学会】	大学英語教育学会(理事・中部支部長)・日本「アジア英語」学会・ 日本英語学会・International Association for World Englishes・ 日本認知言語学会
【支援可能テーマ】	日本人の英語・日本人のための英語習得論・国際英語論
【地域の方々に対するメッセージ】	日本の若者の国際的な発信力の育成は今後も重要課題だと思います。

【氏名】(ふりがな)	権 洵珠 (コン ヒョンジュ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1988年 釜山外国語大学 東洋語学部日本語学科卒業(文学学士) 1997年 大阪市立大学大学院生活科学研究科前期博士課程修了(生活科学修士) 2003年 大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程単位取得退学 2004年 博士(学術)[大阪市立大学第4545号]
【専門】	社会福祉、高齢者福祉、国際福祉
【担当科目】	「人間の尊厳と自立」「介護のチームアプローチ」「ケアマネジメント」 「地域福祉研究」「介護の国際化と地域化」「介護総合演習」「介護実習」
【研究テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジア地域高齢者のソーシャルサポートに関する研究(国際比較) ・ 高齢者の地域ケアのシステムに関する研究
【論文・著書・作品】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2003年、「都市高齢者の手段的ソーシャルサポートに対する選好度：選好度の構造および選好度と基本属性との関連」『日本在宅ケア学会誌』Vol.6(3)、pp. 29-35. (共著) ・ 2004年、「大都市在宅高齢者のソーシャルサポート源に対する選好度の特徴：手段的サポートと情緒的サポートにおける類似点と相違点」『社会福祉学』44(3)、pp. 52-61. (共著) ・ 2007年、「中都市在住高齢者の手段的サポート選好度とその構造—大都市在住高齢者との比較の視点に基づいた考察—」『厚生指標』54-2、pp. 1-6. (単著) ・ 2007年、『高齢者福祉学—介護福祉士・社会福祉士の専門性の探求』学文社(共著) ・ 2010年、『韓日地域福祉論』、ナヌムの家(共著)
【所属学会】	日本社会福祉学会、日本在宅ケア学会、日本ケアマネジメント学会、日本地域福祉学会、韓国老人福祉学会
【地域の方々に対するメッセージ】	大学は「象牙の塔」であってはいらないと思います。大学が、地域の大きな社会資源として役割を果たし、地域社会と共存・共生できる関係を築いて行きたいと考えています。

【氏名】(ふりがな)	笹瀬 佐代子 (ささせ さよこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 経営実務科 准教授
【経歴】	<p>【学歴】</p> <p>1982年 日本女子大学家政学部卒業 (学位：家政学士)</p> <p>2001年 静岡県立大学大学院修士課程経営情報学研究科経営情報学専攻修了 修士 (経営情報学) 取得</p> <p>【職歴】</p> <p>1982年 静岡県立下田北高校 非常勤講師</p> <p>1983年 株式会社ビジネスブレイン昭和 (現株式会社ビジネスブレイン太田昭和) 入社 (~1991年)</p> <p>1991年 専門学校非常勤講師</p> <p>2006年 岡崎女子短期大学 専任講師</p> <p>2009年 同校 准教授</p>
【専門】	ビジネス実務教育、女性労働論、キャリア支援教育
【担当科目】	秘書概論Ⅰ・Ⅱ、秘書実務Ⅰ・Ⅱ、生活とマナー、文書管理、インターンシップ、ワークライフバランス、教養ゼミナール、専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ
【研究テーマ】	就業分野における女性の状況、キャリア形成と教育、効果的なビジネス実務教育
【論文・著書・作品】	『ワークで学ぶビジネスマナー』共著 (西文社)、『ワークで学ぶビジネス・コミュニケーション・スキル』共著 (西文社)、「キャリア形成における商業教育」(『女性の仕事環境とキャリア形成』共著、税務経理協会)
【所属学会】	日本ビジネス実務学会、日本国際秘書学会、秘書サービス接遇学会、日本医療秘書実務学会、日本キャリアデザイン学会
【支援可能テーマ】	男女共同参画、女性に対するキャリア支援、ビジネス実務教育
【地域の方々に対するメッセージ】	学生や教育活動を通して地域とのつながりを深め、地域に貢献できる人材を育て、研究をしていきたいと考えています。

【氏名】(ふりがな)	佐善 圭 (さぜん けい)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	1990年 多摩美術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了 芸術学修士 2008年 岡崎女子短期大学准教授
【専門】	造形表現、子どもの美術、立体造形、彫刻
【担当科目】	基礎造形、幼児造形、保育内容「表現」、教職実践演習、子どもの研究
【研究テーマ】	保育者養成校における造形教育の新たな指導法の実践的研究 子どもの造形表現に関する研究・制作 彫刻表現における素材の可能性と実制作の研究
【論文・著書・作品】	<p>著書：1点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもと表現」共著 日本文教出版社 平 21年 3月 <p>論文：7点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美術教育における石彫についての考察Ⅰ」単著 大学美術教育学会 第38号 平成18年3月 ・「大理石工房における彫刻の実践研究」単著 東北芸術工科大学紀要 No.13 平成18年3月 ・「子どもを対象とした造形活動の一考察 - 米子彫刻シンポジウムにおける彫刻教室の実践 - 」単著 東北芸術工科大学紀要 No.14 平成19年3月 ・「保育内容『表現』における教授の可能性とその効果 - 岡崎女子短期大学独自の『表現』メソッドの試み - 」共著 岡崎女子短期大学学術教育総合研究所所報第2号 平成21年3月 ・「保育内容を実践に生かす取り組みとしての幼児教育祭 - 『幼児教育祭』を保育現場につなげるために - 」共著 岡崎女子短期大学研究紀要第42号 平成21年3月 ・「保育内容総合」を通しての「気づき」 - 保育内容を理解するプロセス - 」共著 全国保育士要請協議会第48回研究大会研究発表論文集 平成21年9月 ・「保育者養成校における造形教育の新たな授業試案とその効果 - 切り紙、染め紙を活用した造形指導の実践的研究 - 」単著 岡崎女子短期大学研究紀要第43号 平成22年3月

	<p>研究発表：8回</p> <p>作 品：168点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「光を紡ぐ花」単独 第74回新制作展 平成22年9月 他 ・審査機関のある展覧会またはコンペティションなどに展示されたもの31点 ・前項以外の展覧会、個展、グループ展などに展示されたもの80点 ・公共又は個人の依頼による設計、作品設置、収蔵業績等実績56点 <p>報告書：1点</p> <p>雑 誌：3点</p> <p>図 録：41点</p>
<p>【所属学会】</p>	<p>大学美術教育学会、新制作協会、多摩美術大学鑄造研究会、日本美術家連盟、国際美術家連盟、現代日本彫刻作家連盟</p>

【氏名】(ふりがな)	白垣 潤 (しらがき じゅん)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育科 准教授
【経歴】	1996年福岡教育大学教育学部卒業(学位:教育学士) 1998年筑波大学大学院修士課程心身障害学研究科修了(学位:修士(心身障害学)) 2001年筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科修了(学位:博士(心身障害学))
【専門】	心身障害学
【担当科目】	障害児保育、保育カウンセリング、教育心理学、発達心理学、こころのしくみ、総合演習、子どもの研究、卒業論文
【研究テーマ】	発達障害児および発達障害が疑われる子のアセスメントに関する研究
【論文・著書・作品】	白垣 潤・梅下弘樹(2010) 発達障害児および発達障害が疑われる幼児の発達特性と家庭環境に関する研究-津守式乳幼児精神発達診断法を用いて-。岡崎女子短期大学紀要、43、41-46
【所属学会】	小児神経学会、重症心身障害学会、特殊教育学会、発達障害学会、人類動態学会
【支援可能テーマ】	障害児の対応について 教育・保育現場における家庭との連携について
【地域の方々に対するメッセージ】	よりよい日本のために、教育・保育現場の充実を目指して、日々研究・教育に取り組んでおります

【氏名】(ふりがな)	妹尾 美智子 (せお みちこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1975年3月愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業(学位:芸術学士) 2003年4月岡崎女子短期大学幼児教育学科教授(現在に至る)
【専門】	音楽
【担当科目】	基礎音楽・幼児音楽・子どもの研究・他
【研究テーマ】	保育士養成における音楽教育
【論文・著書・作品】	「みんなで手遊び One・Two・トン」著書 「子どものうた村 保育の木」著書 「子どもの表現活動に役立つピアノテクニック」著書 「子どもの表現活動を導くコードネームによる伴奏法」著書
【支援可能テーマ】	ピアノ演奏法指導、その他音楽指導

【氏名】(ふりがな)	竹本 行雄 (たけもと ゆきお)
【所属】	岡崎女子短期大学 経営実務科 特任教授
【経歴】	1972 年 広島大学文学部卒業 (学位：文学士) 1974 年 愛知県公立高等学校教諭 1988 年 愛知県教育センター研究指導主事 1997 年 愛知県公立高等学校教頭 2000 年 愛知県総合教育センター研究部長 2003 年 愛知県公立高等学校校長 2010 年 岡崎女子短期大学人間福祉学科特任教授
【専門】	国文学近世近代文学
【担当科目】	日本語表現、キャリアデザインⅠ
【研究テーマ】	日本語表現法 — パラグラフに着目した作文指導法の研究 —
【論文・著書・作品】	『三河物語』研究 高等学校生徒の学力に関する研究(国語) 国語科における学習指導と評価に関する研究
【支援可能テーマ】	初歩的な作文(小論文)の書き方について

【氏名】(ふりがな)	戸田 順子 (とだ じゅんこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 講師
【経歴】	<p>学歴</p> <p>1982年 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了 社会学修士</p> <p>職歴</p> <p>1982年～ 知的障害者授産施設たんぼぼ作業所 1990年～ 日本放送協会学園専攻科社会福祉コース 1993年～ 日本福祉大学中央福祉専門学校 2002年～ 岡崎女子短期大学</p>
【専門】	障害者福祉論
【担当科目】	社会福祉概論、障害者福祉論、社会福祉援助技術
【研究テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムの障害者福祉の特徴と課題 ・グループホームにおける障害者の生活支援
【論文・著書・作品】	<ul style="list-style-type: none"> ・「グループホームにおける生活援助」『障害者問題研究』全国障害者問題研究会 ・「もがきつつ、とまどいつつ」『みんなのねがい』全国障害者問題研究会 ・「親の自立・家族の自立」『みんなのねがい』全国障害者問題研究会

【氏名】(ふりがな)	鳥居 恵治 (とりい けいじ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1974年 東京教育大学体育学部卒業 (学位：体育学士) 1974年 岡崎女子短期大学助手 1976年 " 講師 1986年 " 助教授 2008年 " 教授
【専門】	幼児体育
【担当科目】	幼児体育 保育内容(健康)
【研究テーマ】	幼児期の運動あそび レクリエーション 親子体操
【論文・著書・作品】	保育内容「健康」を学ぶ(福村出版)
【所属学会】	日本体育学会
【支援可能テーマ】	幼児期の運動あそび 親子で遊ぼう
【地域の方々に対するメッセージ】	幼児期は「運動好きな子どもを育てる」ことが大切だと考えられます。技術よりも、運動に興味・関心を持って取り組むことができることが求められます。社会体育の分野で岡崎市の子どもたちに貢献しています。

【氏名】(ふりがな)	仲田 勝美 (なかだ まさみ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	1996年 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業 (学位：社会福祉学士) 2001年 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 福祉マネジメント専攻修了 (学位：福祉マネジメント修士)
【専門】	高齢者介護 介護労働 認知症ケア
【担当科目】	介護福祉学Ⅰ・Ⅱ 生活介護技術Ⅰ・Ⅱ 認知症の理解Ⅰ
【研究テーマ】	高齢者施設介護 認知症ケア 有料老人ホーム スーパービジョン
【論文・著書・作品】	「認知症高齢者ケアの方法論の検討に必要な基本条件に関する研究」 「介護付有料老人ホームの施設機能に関する研究」 『介護技術学』学文社
【所属学会】	日本人間関係学会 日本介護福祉学会 日本社会福祉学会 日本福祉図書文献学会
【支援可能テーマ】	介護理論 認知症ケア 高齢者施設ケア方法論 介護技術
【地域の方々に対するメッセージ】	介護においても特にその方法に関するノウハウを地域の皆さんにお伝えすることができます。お気軽にご相談ください。

【氏名】(ふりがな)	中田 基昭 (なかだ もとあき)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 特任教授
【経歴】	1980年 東京大学大学院教育学研究科学校教育学専攻博士課程修了 (学位：教育学博士) 1980年 東京大学教育学部助手 (1985年まで) 1986年 東京大学教育学部学校教育学科助教授 1996年 東京大学大学院教育学研究科学校教育開発学コース教授 2009年 東京大学大学院教育学研究科教育創発学コース退職 2010年 岡崎女子短期大学特任教授 (現在に到る)
【専門】	授業研究、重障児の教育方法、幼児教育、現象学
【担当科目】	子どもの研究 I
【研究テーマ】	おとなと子どもとの対人関係 幼児の他者経験 障害児の経験解明 哲学的人間学
【論文・著書・作品】	『重症心身障害児の教育方法』東京大学出版会 1984年 (単著) 『授業の現象学』東京大学出版会 1993年 (単著) 『教育の現象学』川島書店 1996年 (単著) 『現象学から授業の世界へ』東京大学出版会 1997年 (単著) <i>Die erscheinende Welt</i> , Duncker & Humblot, 2002年 (分担執筆) 『重障児の現象学』川島書店 2003年 (編著) 『感受性を育む』東京大学出版会 2008年 (単著) 『現象学から探る豊かな授業』多賀出版 2010年 (編著)
【所属学会】	日本人間性心理学会 日本教育学会 日本教育方法学会 教育哲学会、 日本現象学会 実存思想協会 日本児童青年精神医学会
【支援可能テーマ】	親子関係 教師と子どもの関係 障害児の支援
【地域の方々に対するメッセージ】	岡崎女子短期大学の一員として地域の教員養成と福祉活動に参加したい

【氏名】(ふりがな)	中村 治人 (なかむら はるひと)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	1994年 名古屋大学大学院教育学研究科博士課程(後期課程)単位等認定中退(学位:教育学修士) 1994年 名古屋大学助手 2000年 岡崎女子短期大学助教授
【専門】	教育学
【担当科目】	教育原理・保育者論・子どもの研究
【研究テーマ】	近代日本教育思想史 高等教育史
【論文・著書・作品】	『保育・教育実習から学ぶ(保育者へのステージ1)』(共著)愛智出版 2006年 『新版 子どもの教育の歴史—その生活と社会背景をみつめて—』(共著)名古屋大学出版会 2008年 「保育者養成カリキュラム改善に向けての意識調査—本学学生の実習と進路に関する不安を中心に—」(共著)『岡崎女子短期大学紀要』第35号 2002年 「日本文化講義講師柳田国男—高等教育史における柳田学の足跡について—」『柳田国男研究論集』第3号 2004年 「教員免許状更新講習に関する調査研究—保育系短大卒業者に対するニーズと課題意識について—」(共著)『岡崎女子短期大学学術教育総合研究所所報』第3号 2010年
【所属学会】	日本教育学会・教育史学会・日本高等教育学会・日本教育史研究会

【氏名】(ふりがな)	長柄 孝彦 (ながら たかひこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 学長・教授
【経歴】	1974年 愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業 1976年 愛知県立芸術大学大学院音楽研究科修了(学位:芸術学修士) 1978年 岡崎女子短期大学講師 2008年 岡崎女子短期大学学長
【専門】	声楽
【担当科目】	パフォーミングボディ
【研究テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本オペラを通して、日本語の歌唱法や所作などの研究 ・発声指導者と音声医学者との交流を通して、発声に関する科学的視点から実践へ繋がる効果的な方法を研究
【論文・著書・作品】	(公演)「夕鶴」「修禅寺物語」「祝い歌が流れる夜に」「黄金の国」「領事」「額田女王」「天守物語」「新・琵琶白菊物語」「浅茅が宿」などのオペラやミュージカル「回転木馬」「メリー・ポピンズ」など
【所属学会】	日本音楽学会、日本音楽教育学会、保育学会

【氏名】(ふりがな)	古川 芳子 (ふるかわ よしこ)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 特任教授
【経歴】	1973年 京都女子大学大学院家政学研究科修士課程修了(家政学修士) 1973年より33年間私立短期大学幼児教育学科で保育者養成に携わり、 2006年より岐阜県で少子化対策、女性政策に携わる。2010年より現職。
【専門】	保育学、女性学、男性学、ジェンダー論
【担当科目】	乳児保育、女性の自立と人権
【研究テーマ】	ゆたかな人権感覚を育てる 心を拓く絵本体験
【論文・著書・作品】	「乳幼児の表現活動」文化出版博文館(共著) 「乳児保育」みらい(共著) 「絵本ー人間賛歌のメッセージ」中部女子短大紀要(単著)
【所属学会】	教育文化学会
【支援可能テーマ】	「人の育ちと絵本」「人権ってなに?」「ワーク・ライフ・バランス」 「エンパワメントー内なる可能性の信頼」
【地域の方々に対するメッセージ】	ますます専門細分化する社会に生きる私たちは、トータルな人格として、自分を捉えることや他者と向き合うことを考えていくことが課題になっています。人の多様性を尊重して、自分らしく生きていくことについて考えてみませんか?

【氏名】(ふりがな)	祝田 学 (ほうだ まなぶ)
【所属】	岡崎女子短期大学 経営実務科 准教授
【経歴】	1998年 愛知学院大学大学院 経営学研究科経営学専攻 博士課程後期 単位取得後退学(学位:商学修士) 1998年 愛知学院大学大学院 経営学研究科経営学専攻 研究員 2002年 岡崎女子短期大学 経営実務科 講師
【専門】	ビジネス・ヒストリー
【担当科目】	マーケティングほか
【研究テーマ】	歴史にみるビジネス・リーダーの条件
【論文・著書・作品】	「歴史にみるビジネス・リーダーの条件 —郡是・波多野鶴吉—」愛知学院大学大学院 経営学研究科ワーキング・ペーパー (No.1) など
【所属学会】	経営史学会ほか
【支援可能テーマ】	経営関連 (経営シミュレーション研修 [ビジネスゲーム]) など

【氏名】(ふりがな)	真木 弘 (まき ひろし)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 教授
【経歴】	1977年東京教育大学体育学部卒業(学位: 体育学士) 1978年4月岡崎女子短期大学 兼任講師(体育・体育保健) 1978年10月岡崎女子短期大学 助手(体育・体育保健) 1983年4月岡崎女子短期大学 講師(体育・保健体育・健康) 1990年4月岡崎女子短期大学 助教授(体育・幼児体育・専門ゼミ) 2005年4月岡崎女子短期大学 教授(体育・幼児体育・専門ゼミ)
【専門】	教育方法
【担当科目】	健康とスポーツ、幼児体育、子どもの研究
【研究テーマ】	合理的な動き(ラケット種目等)の研究
【論文・著書・作品】	女子の運動と健康の理論 健康とスポーツ概論 テニス指導書の比較研究
【所属学会】	日本体育学会

【氏名】(ふりがな)	町田 由徳 (まちだ よしのり)
【所属】	岡崎女子短期大学 経営実務科 講師
【経歴】	2001年 東京造形大学 造形学部卒業 (学位: 造形学士) Tripod design (株)、埼玉県立新座総合技術高等学校デザイン専攻科教諭等を経て、2009年4月より現職。
【専門】	プロダクト・デザイン
【担当科目】	プロダクトデザイン論、CAD オペレーション、経営実務演習他
【研究テーマ】	ユニバーサル・デザイン、インクルーシブ・デザイン等のユーザー対話型のプロセスに基づいたデザイン制作、教育法の研究
【論文・著書・作品】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究 口頭発表: 「プレゼンテーションツールとしての ISO32000-1 活用の可能性」(単)、「タイポグラフィによるコミュニケーション教育の実践」(単) 他 ・ 受賞 日本ビジネス実務学会プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞(単) If design award (共) 他
【所属学会】	日本デザイン学会、日本ビジネス実務学会、大学美術教育学会
【支援可能テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザー対話型プロセスによる、ユーザーリサーチ、デザイン評価システムの提案 ・ ユーザー対話型プロセスによる、商品企画、デザイン開発 ・ 企業、自治体等におけるユーザー対話型デザインの人材教育、教材の提供

【氏名】(ふりがな)	谷田貝 雅典 (やたがい まさのり)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 准教授
【経歴】	東京理科大学 理学部物理学科 卒業 (学位：学士(理学)) 早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 修士課程 修了 (学位：修士(国際情報通信学)) 名古屋大学大学院 情報科学研究科 博士後期課程 修了 (学位：博士(情報科学))
【専門】	教育工学、情報教育、科学教育
【担当科目】	情報基礎演習 教職実践演習 こどもの研究Ⅰ・Ⅱ 卒業論文
【研究テーマ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 双方向遠隔教育の教育効果測定と教授方略研究 ・ 遠隔教育システム開発 ・ e-Learning コンテンツ開発
【論文・著書・作品】	<p>{論文}</p> <p>谷田貝雅典 坂井滋和(早大) “視線一致型及び従来型テレビ会議システムを利用した遠隔授業と対面授業の教育効果測定” 日本教育工学会論文誌30巻2号 p.69-78</p> <p>谷田貝雅典 坂井滋和(早大) “Analysis of the Educational Effect of Eye-Contact and Former-Type Systems of Distance Learning through Video Conferencing Systems and Face-to-Face Learning” Educational Technology Research Vol.31 p.49-60</p> <p>谷田貝雅典 坂井滋和(早大) 永岡慶三(早大) 安田孝美(名大) “視線一致型及び従来型テレビ会議システムを利用した遠隔授業と対面授業における学習者特性に応じた学習効果の共分散構造分析” 教育システム情報学会論文誌 27巻3号 p.11-23</p> <p>谷田貝雅典 坂井滋和(早大) 永岡慶三(早大) 安田孝美(名大) “ Comparison Education Effect Measurement by Educational Environment including Eye-Contact Type: Video Conferencing System” e-CASE & e-Tech 2011 p.143-165</p> <p>ほか、</p>
【所属学会】	電子情報通信学会 日本教育工学会 教育システム情報学会 日本保育学会
【支援可能テーマ】	双方向遠隔通信、こどもと IT 機器、情報倫理、映像コンテンツ製作(クリエイティブアニメなど)、就学前科学教育(幼児向けサイエンスショーなど)

<p>【地域の方々に対するメッセージ】</p>	<p>パーソナルコンピュータに代表される I T 機器の特徴は、業務の効率化や生活を便利にするなどの利点がある反面、人間関係を希薄にする、考えることが少なくなり人間が退化する、など危惧される点もあります。このような特徴を持つ I T 機器は、一見すると無機質な印象をうけます。しかし、I T 機器を道具として上手に使うと、温かい社会や、創造的な活動ができます。これを実践すべく、以下に現在取り組んでいる活動の一部について紹介します。</p> <p>教育で I T を有効活用すると、学びの場の広がりや、豊かな表現活動が行えます。特に、保育の現場では創造性や感性を育む活動におもきがおかれており、I T を活用することで多様な表現や、創作物の共有が可能です。しかし、教育界における I T 利用は、保育現場が一番遅れております。よって、これまで本学で取り組んできた教授活動は、I T を活用した作品制作や情報発信を実践し、保育に生かせる創作技能の習得や、第三者評価を通じて自己研鑽する能力の育成を目指してきました。これまでの教授活動の成果として、下記のような学生制作作品の受賞歴があります。また、各作品は下記の URL からご覧いただけます。岡崎市の学生が、こども向けに発信する手作り感あふれる、温かいデジタルコンテンツを、多くの皆様に視聴いただき、私どもの取り組みにご興味を持っていただけたら幸いです。</p> <p>{学生の入選作品}</p> <p>「にしお」(地域紹介映像作品)</p> <p>第五回碧海・西尾幡豆市民映像祭 Vフェスタ 優秀賞 (ビギナー部門) 主催：碧海・西尾幡豆市民映像祭実行委員会</p> <p>「ないしょのおかづけ」(ストップモーションアニメ)</p> <p>2009 かがみがはらアニメコンテスト ベストキャラクター賞 主催：NPO 法人 K-IT シティー・コンソーシアム</p> <p>「砂のしずく」(クレイアニメ)</p> <p>第 3 回中部大学映像コンクール 最優秀賞 (アニメーション部門) 主催：中部大学</p>
<p>HP アドレス</p>	<p>http://yatagai.jp</p>

【氏名】(ふりがな)	山田 悠莉 (やまだ ゆり)
【所属】	岡崎女子短期大学 幼児教育学科 講師
【経歴】	2005年 中京女子大学健康科学部卒業 (学位：健康科学学士) 2007年 中京女子大学大学院健康科学研究科修了 (学位：健康科学修士) 2006年 学校法人立命館 立命館小学校 教諭 (～2009年3月) 2009年 学校法人清光学園 岡崎女子短期大学 助教
【専門】	身体表現 (ダンス)
【担当科目】	パフォーマンスボディ 保育内容表現 保育内容総合 子どもの研究
【研究テーマ】	身体表現について
【論文・著書・作品】	教員免許状更新講習に関する調査研究－保育系短大卒業者に対するニーズと課題意識について－
【所属学会】	舞踊学会 東海体育学会 日本保育学会
【支援可能テーマ】	ダンス、親子ふれあい、健康など